



RTK Dual-band GNSS Receiver

ジオウォーカー

GEO WALKER

2周波RTK-GNSS受信機

GW01

手簿・記簿/測位 データ出力ガイド

はじめに

この度はGW01をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書では計測データを手簿・記簿に出力する方法を解説します。

本書の指示に従って設定を行ってください。

v1.0.0

はじめに	0
目次	1
1. 手簿・記簿の生成	3
1-1. File information の入力	3
1-2. 手簿・記簿の生成	5
1-3. 表示座標系の変更方法	7
2. データの出力方法	8
3. データの共有方法	11
3-1. クラウドまたはメールで共有	11
3-2. USB ケーブルを使用し共有	15

注意**■測位データの取得について**

本書では GEO WALKER を用いて、計測データ取得以降の操作方法について解説します。計測データの取得方法に関してはクイックスタートガイドを参照ください。



GEO WALKER クイック
スタートガイドはこちら

 注意

■【手簿・記簿】生成用のデータを計測時、下記7つの設定や測位方法を遵守し測位を行ってください。

- ①【元期 / 今期】の設定
- ②【ジオイド 2011】を有効にする
- ③表示座標系を【平面直角座標系】に設定
- ④計測レートを【1Hz】に設定
- ⑤使用する衛星から【BeiDou】を外す
- ⑥【10 秒間】観測を行う
- ⑦【日本の測量法準拠チェックを行う】にチェックを入れる。

■VRS（仮想基準点）について

【GEO WALKER】アプリでは、【VRS】の際に生成される【仮想基準点】を任意のポイントに設置することはできません。【仮想基準点】はランダムに設置されます。配信サービスの停止、一時停止やFIX状態の解除等、配信サービス情報が途切れた場合は、【仮想基準点】もリセットされます。同一ファイル内に基準点の座標が複数ある場合、【手簿・記簿】の出力ができません。そのため、基準点が変わることが想定される観測を行う場合、都度【ファイルの独立】を行ってください。


■測位に使用した基準点の確認方法

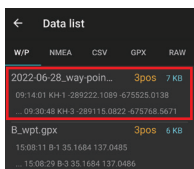
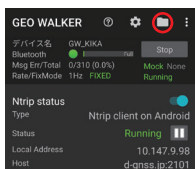
測位データの一番下に【Base pos】と表示されている座標が測位に使用した基準点になります。ファイル内測位データの基準点座標が異なる状態で【手簿・記簿】を出力すると、エラーが出ます。この場合は同一の【手簿・記簿】にて生成することができません。

1. 手簿・記簿の生成

[File information] を入力せずに手簿・記簿を出力すると、点番号等の項目が空欄になってしまいます。手簿・記簿を出力する前に [File information] の入力が必要です。本セッションでは [File information] の入力方法を解説します。

1-1. File information の入力

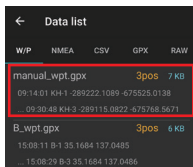
- ① GEO WALKER アプリを起動し、トップ画面右上の  をタップします。
手簿・記簿の出力を行いたいファイルをタップします。



- ② [File information] をタップします。必要項目を入力し、[OK] をタップします。




③入力したセッション名に変更されているか確認します。

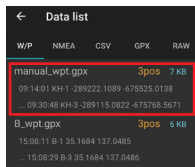
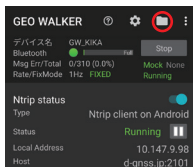



入力したセッション名に変更されていれば [File information] の入力は完了です。
ファイルを独立させることができました。

※仕様上、ファイル内の全てのデータを一括でファイル化してしまいます。
ファイル化した後に特定のデータを抜き出すことはできません。現場ごとにデータを分けたい場合、都度ファイルを独立させてください。

1-2. 手簿・記簿の生成

- ① GEO WALKER アプリを起動し、トップ画面右上の  をタップします。
 [手簿] または [記簿] を生成するファイルをタップします。



- ② 右上の  をタップします。[共有] をタップします。



- ③ [測量手簿] または [測量記簿] をタップします。
出力先を選択し、タップします。



選択した出力先に [手簿] または [記簿] のデータが保存されていれば、[手簿] または [記簿] の生成は完了です。

※ [手簿] または [記簿] の生成はファイルごとに作成可能ですが、測位データの取得条件が異なるデータが同一ファイル内に含まれる場合（使用した電子基準点や測位時の設定が異なる等）は生成できません。[手簿] または [記簿] の生成ができない場合、[GEO WALKERトラブルシューティング] の P.15 以降を参照いただき、設定を確認し再度測位データの取得を行ってください。



GEO WALKERトラブル
シューティングはこちら

※③の際に [最初のポイントに平面直角座標の値がありません] と表示された場合、測位後でも設定の変更が可能です。P.7 を参照いただき、[表示座標系] の設定の変更を行ってください。P.7

1-3. 表示座標系の変更方法

手簿・記簿の生成③の際に「最初のポイントに平面直角座標の値がありません」と表示された場合の設定変更方法を解説します。



手簿・記簿の生成③の際に、画面下部に「最初のポイントに平面直角座標の値がありません」と表示された場合、「表示座標系」の変更を行ってください。

【設定変更方法】

データをタップし、各項目の入力画面 [Edit waypoint] を表示します。[Input Type] のドロップダウンボックスから、「表示座標系」を選択し、[OK] をタップしてください。表示座標系の変更は完了です。

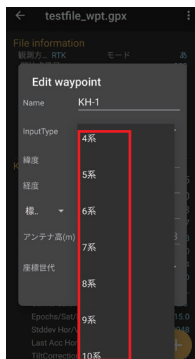
座標系の選択については、国土地理院のホームページもしくは【GEO WALKER クイックスタートガイド】の P.22 を参照ください。



国土地理院ホームページはこちら



GEO WALKER クイックスタートガイドはこちら



※【日本の測量法準拠チェックを行う】にチェックを入れた状態で測位を行っても、「表示座標系」を「平面直角座標」に設定していない場合、「最初のポイントに平面直角座標の値がありません」と表示されます。「平面直角座標」は測位後も変更可能です。

※【Edit waypoint】では【元期/今期】の設定項目もありますが、こちらで変更を行っても測位データの設定には適応されません。【GEO WALKER トラブルシューティング】の P.20 を参照いただき、設定を確認し再度測位データの取得を行ってください。



GEO WALKER トラブルシューティングはこちら


2. データの出力方法

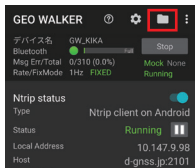
本セッションでは 1-1 で入力した [File information] を使用し、データを出力する方法を解説します。

[手簿] または [記簿] を出力する場合

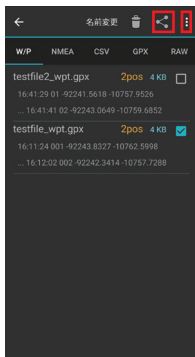
1-2 手簿・記簿の生成を参照し、順次設定を行ってください。P.5


[SIMA] または [GPX] を出力する場合


- ① GEO WALKER アプリを起動し、トップ画面右上の  をタップします。
[SIMA] または [GPX] を出力したいデータをチェックが入るまで長押しします。



- ② 右上の  または  をタップします。



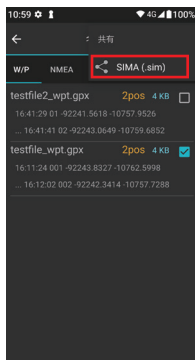
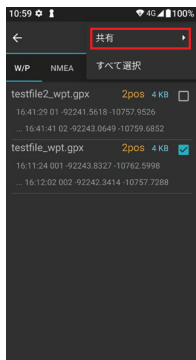
[SIMA] 出力時は右上の  をタップします。
③にすすんでください。

[GPX] 出力時は右上の  をタップします。
④にすすんでください。

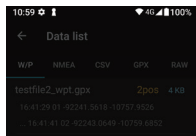
※ [GPX] は詳細な観測データのことを指します。

③ [共有] をタップします。[SIMA(.sim)] をタップします。

※この操作は [SIMA] 出力時のみ行います。[GPX] 出力時は不要です。



④ データの拡張子が [SIMA(.sim)] または [GPX(.gpx)] になっていることを確認し、保存 / 出力先を検索します。



※Android 端末や OS のバージョンによって表示画面は異なります。希望の保存 / 出力先が見当たらない場合、下にスクロールしてください。



- ⑤Google クラウドに保存する場合は「ドライブ」をタップします。メールに添付して送信する場合は「Gmail」をタップします。USB ケーブルを用いて Android 端末からパソコンに出力する場合は「ファイルマネージャー」をタップします。



※保存 / 出力先選択後の操作方法は 3. データの共有方法で解説します。 P.11

3. データの共有方法

本セッションでは 2. データの出力方法で出力したデータをクラウドやメールで共有する方法と、USB ケーブルを用いてパソコンに共有する方法を解説します。

3-1. クラウドまたはメールで共有


Google クラウドに共有する場合

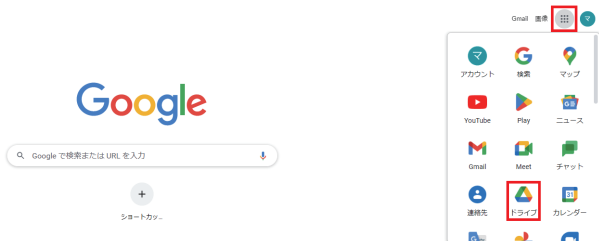
- ① [ドライブ] をタップします。[ドライブに保存] の画面で、アカウントに誤りがなければ確認し、[保存] をタップします。



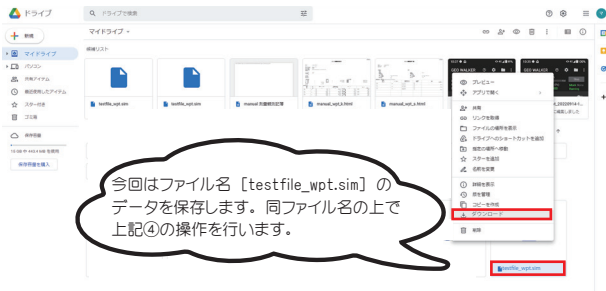
- ② Android 端末のホーム画面に戻り、[ドライブ] アプリをタップし、[マイドライブ] 内にデータが保存されているか確認します。



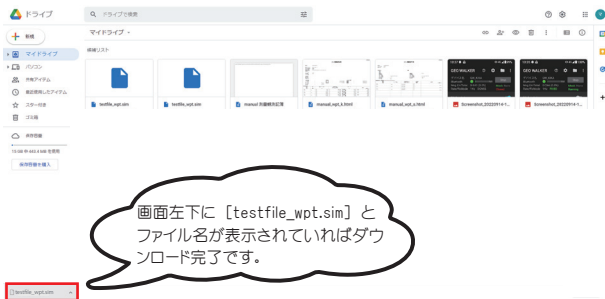
- ③パソコンで Google を起動し、Android 端末と同じ Google アカウントでログインします。画面右上の  をクリックし、アプリ一覧から [ドライブ] をクリックします。



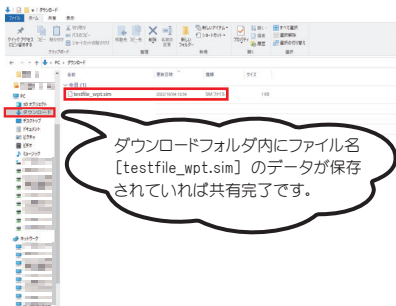
- ④保存するデータの上でマウスを右クリックし、[ダウンロード] をクリックします。



⑤画面左下にダウンロード完了の表示がでます。



パソコンの【ダウンロード】フォルダ内にデータが保存されていれば Google クラウドでの共有は完了です。

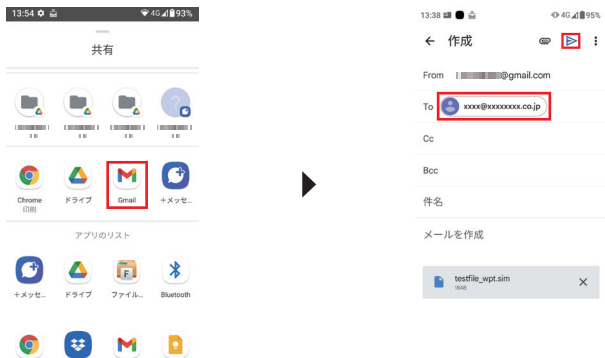


※ご案内した方法は一例です。パソコンおよび Android 端末の設定や OS のバージョンによって表示内容が異なる場合があります。

メールで共有する方法に関しては、P.14 を参照ください。 P.14

メールで共有する場合

- ①[Gmail] をタップします。Gmail の送信画面で、送付先のメールアドレスを入力し、送信マーク▶をタップします。



受信先でメールを開封し、添付されているデータを保存します。
以上でメールでの共有は完了です。

※ご案内した方法は一例です。Android 端末の設定や OS のバージョンによって表示内容が異なる場合があります。

3-2.USB ケーブルを使用し共有

USB ケーブルを用いてパソコンにデータを転送する場合、測位データを Android 端末にダウンロードする必要があります。ダウンロードの際、ファイル管理アプリが別途必要になります。本手順では【ファイルマネージャー】というアプリを使用する方法を解説します。アプリをお持ちでない場合、手順に進む前にアプリのダウンロードを行ってください。

<ダウンロード方法>

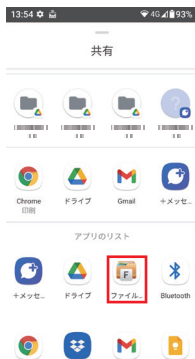
Android 端末で Google Play をタップします。
【ファイルマネージャー】と検索し、インストールをタップしてください。



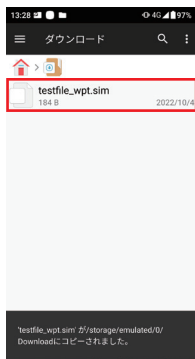
※他のファイル管理アプリを使用する場合も基本的に同様の手順でデータ転送可能ですが、表示内容等は異なりますのでご注意ください。

USB ケーブルを用いて Android 端末からパソコンにデータを共有する場合

- ①Android 端末の【ファイルマネージャー】アプリをタップします。
【ファイルマネージャー】アプリ内の【ダウンロード】フォルダをタップします。



- ②保存をタップします。[ダウンロード] フォルダ内にデータが保存されているか確認します。



- ③パソコンと Android 端末を USB ケーブルで接続します。
 接続後、Android 端末の画面に [USB 接続の用途] が表示された場合、
 [ファイルを転送する] をタップし、⑥に進んでください。P.18
 表示されない場合、④に進んでください。P.17



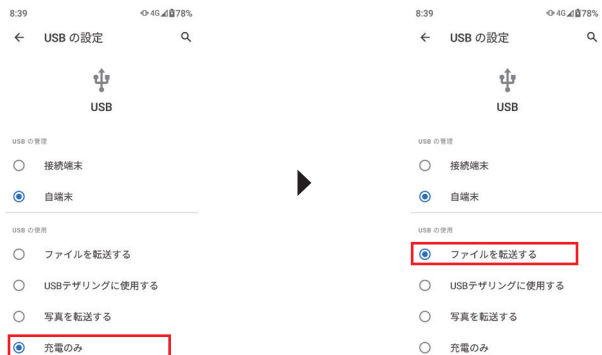
- ※必ずデータ転送可能なケーブルを使用してください。
 ※Android 端末の設定や OS のバージョンによって表示内容が異なる場合があります。

- ④パソコンと USB ケーブルを接続した状態で Android 端末のトップ画面の最上部からスクロールし、通知を表示します。USB に関する通知を 1～2 回タップします。



※Android 端末の設定や OS のバージョンによって表示内容が異なる場合があります。

- ⑤USB の設定が [充電のみ] になっているか確認します。
[ファイルを転送する] をタップし、USB の設定を変更します。



※Android 端末の設定や OS のバージョンによって表示内容が異なる場合があります。

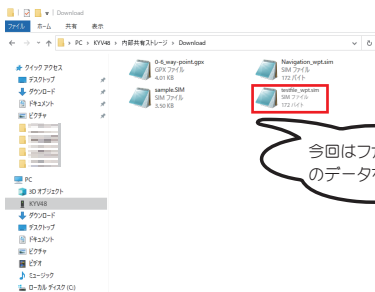
- ⑥パソコンで Android 端末のフォルダを選択し、[内部共有ストレージ] をダブルクリックします。



- ⑦パソコンで [ダウンロード] フォルダをダブルクリックします。



⑧保存されているデータ (SIMA/GPX/ 手簿 / 記簿) をパソコンに保存します。



今回はファイル名 [testfile_wpt.sim]
のデータを選択し、保存します。

以上で USB ケーブルを用いた Android 端末からパソコンへのデータ共有は完了です。